

虹とそのなかま

2月1日(木)～4月1日(日)

寄贈品コーナー

昨年12月3日、雲間から射し込んだ朝日が鮮やかな虹を作り出し、市内の各所で目撃されました。当博物館にも、インターネットを通じて写真の投稿をいただきました。

いったい、虹はどうして現れるのでしょうか。あのトンネルはなぜぐるぐるとまわることができないのでしょうか。

虹は雨粒と太陽の光が織り成す現象です。まるい水滴の「中で」反射した光が、美しい七色の輝きを作ります。反射した光ですから、虹に向かっていくら歩いても、むこうがわに行くことは決してできません。

また、くわしく観察すると、二重の虹など、珍しい虹に出会えることもあります。

今月の寄贈品コーナーは、いただいた虹の写真を元に、複雑な虹や、虹と同じような光を見せるその他の現象を紹介します。

2007年2月1日(木)～4月1日(日)



劔持瑞穂さんからホームページの「みんなの自然アルバム」に投稿いただいた写真より